

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	oliveやまうち(児童発達支援)			
○保護者評価実施期間	R7年 2月 15日		～	R7年 4月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	R7年 2月 15日		～	R7年 4月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 5月 12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・アットホームな環境で、一人ひとりの発達段階に合わせ寄り添い支援をしています。	・自宅をイメージ出来る様にし、安心して帰宅出来る様な環境を整えています。 ・児童への声かけを毎日行い、子供たちからの体調面や、学校での様子などを話してくれるような雰囲気作りを大切にしています。	・子供達同士で物事を考え、決断し、行動へ移せるように支援をしています。 ・個人の目標をたて、苦手な事への取り組みを可視化し、自ら意識づけが改善できる様にしています。
2	・子供達への寄り添い支援を目指し、保護者との関わりも大事にしています。	・保護者との連絡や相談がすぐに出来る様に、環境を整えている。 ・連絡帳やラインを利用し、こまめに連絡を取り合う体制を整えている。	・保護者会や、親子レクリエーションなどを開催し、交流を深めています。 ・事業所にいつでも訪問し、活動の様子が見えるように開放しています。 ・保護者へ、研修や講演会の紹介をし、一緒に勉強をしていく機会を設けています。
3	・子供たちが、地域移行が出来る様に支援をしています。	・活動を通して地域との交流を意識し予定を組むようにしています。 ・公民館や・児童館・地域公園などを利用する事で地域移行へ繋げられる様にしています。	・発達段階に合わせた個別対応を心掛けています。 ・今後も金銭感覚や、社会性スキル、公共のルールなどを活動に取り入れて支援をしています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・雨天時の活動が固定化されやすい。	・活動の内容は決まっているが、天気によって変更になりやすい。	・急な雨天時にも、対応できる様にプランを立てていきます。
2			
3			